

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

<b>事業所名</b>	社会福祉法人 伸康会 音楽療育支援教室 どれみの森					公表日	2025年 2月 25日
環境・ 体制 整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・読書をする部屋、宿題をする部屋、体を動かす部屋等をスペースを区切っている。スペースが狭い時は、活動を分けて行う工夫をしている。	部屋を有効活用したり、コーナー別に分けるなど工夫していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・利用人数に合わせて配置し、個別支援のお子さんにもサポートしている。	急な人員不足にも法人内事業所と連携して対応しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・視覚の分かり易い情報を提示して生活しやすくしている。 ・全体的に段差がない造りになっている。	特性に応じた分かり易い構造化に努めていきます。段差をなくし、伸び伸びと活動できるようにしていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・毎日の整理整頓、清掃、消毒を行い、清潔を保っている。なるべく広い空間を作っている。	育ちの差に合わせた活動内容にし、集中できる空間の配慮も行っていきたい。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・個別で過ごせる場所を数か所設けている。 ・クールダウンする部屋をいつでも利用できる。	個別の部屋が寒いことがあるので、適温に保つようにする。		
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	・フィードバックを毎日行い、次回への支援方法を共通理解している。	できる範囲で、パートの職員も参加できるようにしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・評価表や面談で聞き取りをし、改善につなげている。 ・アンケートや面談を行い、保護者等の意向等を把握する機会を設けている。	今後も真摯に受け止めて、改善につなげる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・定期的に療育プログラムの内容については意見を出し合って改善している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	・外部評価は行っていない。	外部からの評価を受け、さらに良い療育計画を作成していきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・月一回くらいのペースで研修を行い、資質向上に努めている。	職員のスキルアップの研修会をもう少し、回数を増やして行っていきたい。	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・支援プログラムは作成されているが、これから公表する予定である。	支援プログラムは作成されているが、これから公表する予定である。		
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	・定期的なアセスメントを基に個別集団別の計画作成を心がけている。	これからも子どもの意向や思いを大切に聞き、計画作成したい。		
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・話し合いを通してこれまでの児童の様子や現在の様子、今後の関わりを職員が理解し、その上で検討が行われている。 ・子供達のため支援を第一に考えている。	共通理解する時間の確保に努めていく。		
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・毎日共有して、支援に当たっている。			
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		アセスメントを丁寧に行い、支援にいかしていく。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		移行支援の支援内容については、今後支援の仕方について学び、具体的に支援を提供していきたいと思う。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・チームでの話し合いを通じて、現在の児童の状態や様子をもとに立案している。 ・各プログラムの分担をし、最後は皆でよりよい内容にしている。	週ごとに療育コンテンツを入れ替えたり、定期的に見直しや検討を行っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・週替わりのプログラムを考案・実施している。担当を決めローテーションで組んでるため、毎回新鮮さがある。	利用者様の伸ばしていきたい姿を話し合い、都度内容を工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・宿題や学習プログラムを活用し、集団の中でも個別で取り組む活動を取り入れている。	自立へ向けた支援のために、子ども達の様子や状態に応じた活動を展開したい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・話し合いや模擬授業を行い、連携して支援を行っている。その日の役割を全員で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・翌日、子ども一人一人の振り返りと気づいた点、今後の支援方法を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・支援記録やフィードバックをもとに、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		これからも家族や子どもの意向や思いを大切に聞き、計画作成したい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0	・基本活動が実施できる様、多様な経験ができるプログラムやレクリエーションをしている。	満足することなく、工夫できる所やより良い支援内容を考慮していきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	・自己決定、自己選択できる様な場面を作る働きかけをし、力を育てる支援をしている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・問題があった家庭や利用者様について連携し、体制も整っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4		今後はこちらから働きかけて、情報共有を進めていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	・対象児童がいなかった。	今後は、積極的に働きかけて情報を提供し、移行先と協力していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・交流は今のところはおこなっていない。	交流を深められる地域の集まりの場を開催したいと思う。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0		今後も積極的に参加し、学んだことを職員に広めていきたい。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・帰宅時の保護者との対面での情報共有や連絡ノートを有効的に活用している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	・子育て支援の相談に応じることはあるが、研修の場は設けていない。	保護者の方の懇談の場や子育てのヒントをもらえる場を提供したいと思う。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		変更があった際には、丁寧に説明をしていきたい。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	・家族だけではなく、子供とも面談を行い意向をしっかりと聞いて支援にいかしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・家族等からの悩みや相談を受け、直ぐに必要な助言や支援を行っている。 ・職員同士情報を共有しながら助言を行っている。	話す時間を多く持ち、悩みや相談事を聞き出す業務をしっかりと行いたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4		今後、保護者様のニーズを把握し、話し合いの場を設けていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情・相談受付マニュアルを作成し、マニュアルに基づいて行っております。	苦情に関しては、相談窓口をお伝えし、迅速に誠実に対応できるように体制を整えていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	・月に一度通信を配布し、行事予定、様子の伝達を発信している。	今後はSNS活用もどんどん行っていく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・十分に気を付けて、写真や動画の掲載をしている。	個人情報について、今後も変わりはないか聞き取りをしていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・マスクをとって話す、分かり易く話す、絵や文字での指示書で提示するなど工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		開催しておりませんでした。機会を設けたいと考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・様々なマニュアルを研修で確認したり、訓練を実施している。	計画性をもって、様々な訓練を実施、フィードバックしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・定期的に様々な訓練を実施している。	訓練状況などを写真などで知らせていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・年に一度は服薬等について確認し、記載してもらっている。	アセスメントの中で再度確認していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・アレルギーの子には、定期的に保護者と連絡を取り合っている。	アレルギー検査の結果等をいただいて、職員で周知していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		安全管理について、対策や訓練を行い、見守りの仕方など、細かなところもスキルをあげていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		安全確保について、新年度改めて周知していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・再発防止に気を付けて、職員間で声を掛け合っている。	職員がいろいろなケースで、再発防止や注意喚起ができるように研修を重ねたい。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・虐待をテーマに取り上げた研修を行っている。また、日頃の関わりについて、適しているのか、確認助言している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	・対象の児童はいない。	